

ミニマル × マキシマル



自然光を取り込む洗面室

「自然の光や風と共に快適に暮らせること」

このお住まいは、沖縄市潮瀬の住宅街に位置しており、敷地は東西に細長く伸びる形状になっています。東西に長いと通常、日射量が増える傾向にありますが、両側を住宅に囲まれているため、東西面の外壁に当たる日射は遮られています。さらに前面道路と背面道路には、風が流れていることが分かり、その風が取り込みやすいようなプランにしました。

「シンプルに暮らせること」

クライアントが暮らす2階には、囲まれた玄関はなく、LDKをテラスで挟むシンプルな構成となっています。寝室はコンパクトながらも落ち着いた空間とし、水回りは一階の1LDKのお住まいと同じ形状とし、合理化を図りました。最小限な「ミニマル」な住まいのなかで、四季折々を感じられる光と影を感じられる豊かさをもつ「マキシマル」な暮らしにもなっています。何が生活に大切なのか、アートも含めて必要なものは全て揃っている、小さな住まいの中に大きなこだわりがたくさんつまったお住まいになりました。

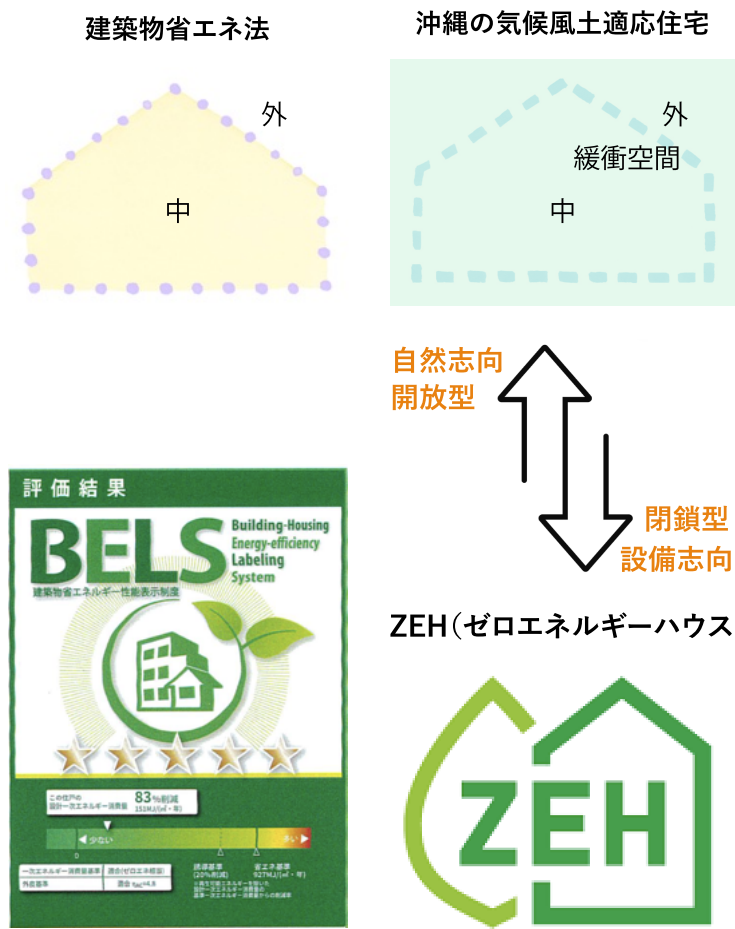
■ 二面性を楽しむ ■

このようなミニマルでマキシマルといった一見相反する要素と同様に、このお住まいでは、一見相反するものであっても両立できる要素が多いことがわかりました。例えば以下のようなものです。

- ・気候風土適応住宅×ZEH
- ・プライバシー×パブリック
- ・日射熱遮蔽×日射熱取得
- ・合理性×アート
- ・協調性×個性

なるべく無駄なものを省き、コンパクトな住まいと時代に左右されないデザインを持つことで、余白を増やし、多くの可能性や要素を取り込むことが可能になりました。

美しく快適な時間が過ごせるような永く愛されるお住まいになることを目指しました。



沖縄の気候風土適応住宅は、中と外を外皮によって分けて考える建築物省エネ法の考えとは異なり、緩衝領域型と言って外部まで緩やかに繋がる空間を評価しています。つまりこの気候風土適応住宅は、伝統木造でもRC造でも構造は関係なく、空間そのものを評価しています。この評価方法は、世界の蒸暑地域のみではなく、様々な気候に対しても環境アクションを起こすきっかけになり得ると考えます。空間を外と中で完全に仕切って安定した温熱環境のみが評価されるのではなく、家の中で緩やかに変化していく環境が、実は地球上の生物にとって、より生き抜いていく長寿命化を促すものとして再認識し始めています。

一方、このお住まいは気密性を有し、日射遮対策も充分にしており、さらに自然の恵みである再生エネルギー設備を導入しています。小さく作ることによって少ないエネルギーで、ゼロエネルギーハウスの基準も容易に満たすことができました。昨今、建築費高騰で住宅のほかに再生エネルギーを導入するのが経済的に困難になっていますが、今回電力会社が取り組んでいる「リース」型の再生エネルギー設置を採用することで、太陽光パネルだけでなく、停電時に役にたつ蓄電池も初期投資ゼロで、設置することができました。

一般的に気候風土適応住宅は開放型や自然志向、ZEHは閉鎖型設備志向と全く性質が違うものとされますが、このお住まいでは両方の性質を持ち合わせることで季節や災害時等によって閉じたり開けたりできる住まい方が可能です。

気候風土適応住宅 × ZEH

前面道路に位置するテラスからの開口は、道ゆく人や遊びに来てくれる人とのコミュニケーションの場にもなります。ただ内側のテラスのベンチに座ると、外からの視線は遮られ半外部空間のプライベートな空間にもなります。



LDKに面したテラスベンチ



道ゆく人や来客者とのコミュニケーションの場となる

プライバシー × パブリック

日射遮蔽 × 日射熱取得



自然光を取り込むLDK



花ブロックから差し込む光



時間や季節と共に変化する



オリジナルの左官仕上

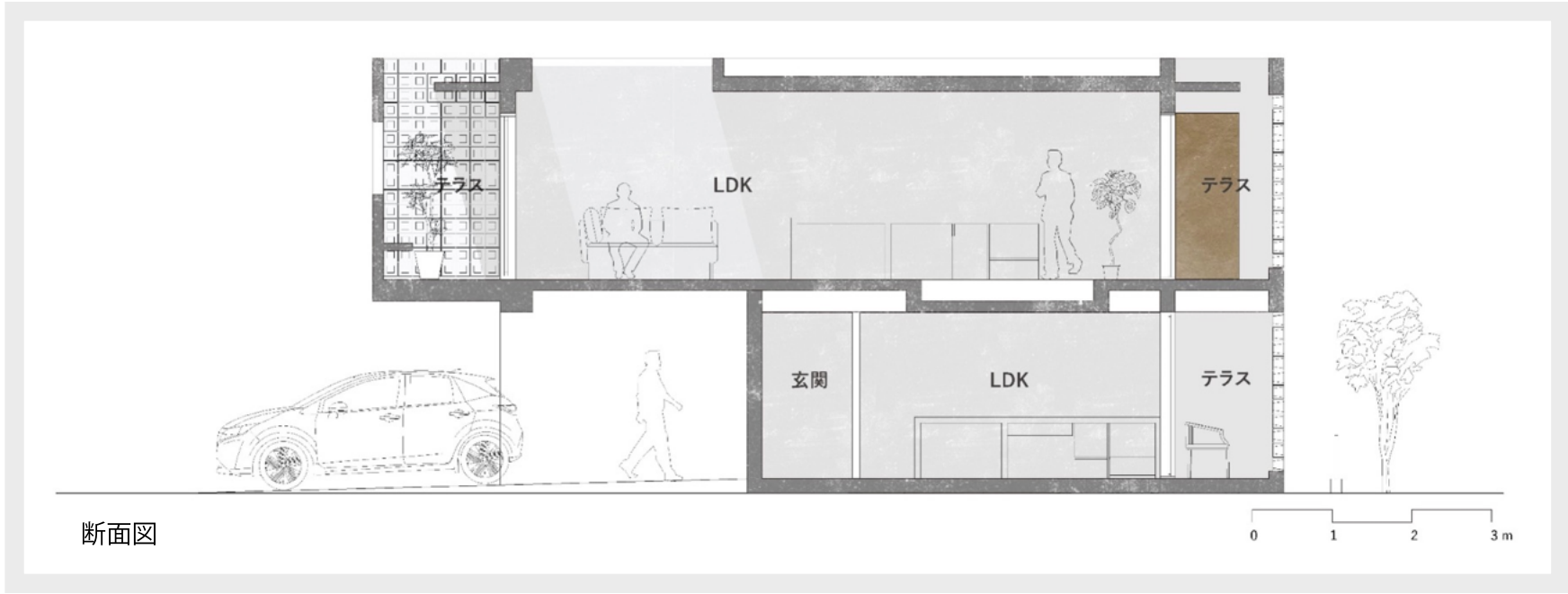


トンネル効果のあるアプローチ階段



合理性 × アート

テラスに面する開口は、サイズが同じで、水回りの構成も上下階同じ仕様で同じサイズで計画されています。そんな合理的な空間の中に、職人の手仕事であるオリジナル左官によるキッチンと洗面台を創りました。世界に一つしかないアートのような存在であるキッチンはシンク・ワークテーブル・ダイニングテーブルを兼ねており機能を一つに集約することでLDKの空間は広く使うことができます。さらに両側をテラスで挟んでいるため、横方向へと視線が抜けていくことで、広がりを感じることが出来ます。この緩衝空間は、環境性能の向上にも寄与しています。



断面図

一見シンプルで、どこにでもありそうな四角な白い建物ですが、記号的な開口との組み合わせで、どこにもない個性を持っています。ミニマルな形状は、周囲の街並みや環境に馴染みやすく、意図がシンプルに伝わる性質をも兼ね合わせています。

協調性 × 個性



LDK



ミニマルな外観

■ 建築概要

所在地: 沖縄県沖縄市	敷地面積: 150.7㎡
用途: 共同住宅(長屋)	建築面積: 79.48㎡
建築主: 個人(夫婦)	延床面積: 1階56.86㎡
施工: 株式会社 沖秀建設	2階71.38㎡
給排水工事: 株式会社 設備技研	合計 128.24㎡
電気工事: 株式会社 セイリング	竣工: 2024年3月
キッチン: 株式会社 昭和厨房	設計期間: 2021年11月~2023年3月
左官: 隆左官店	施工期間: 2023年3月~2024年3月
構造規模: RC造2階建	写真: (※) 石井紀久
	実績: 沖縄建築賞 奨励賞受賞